

2024

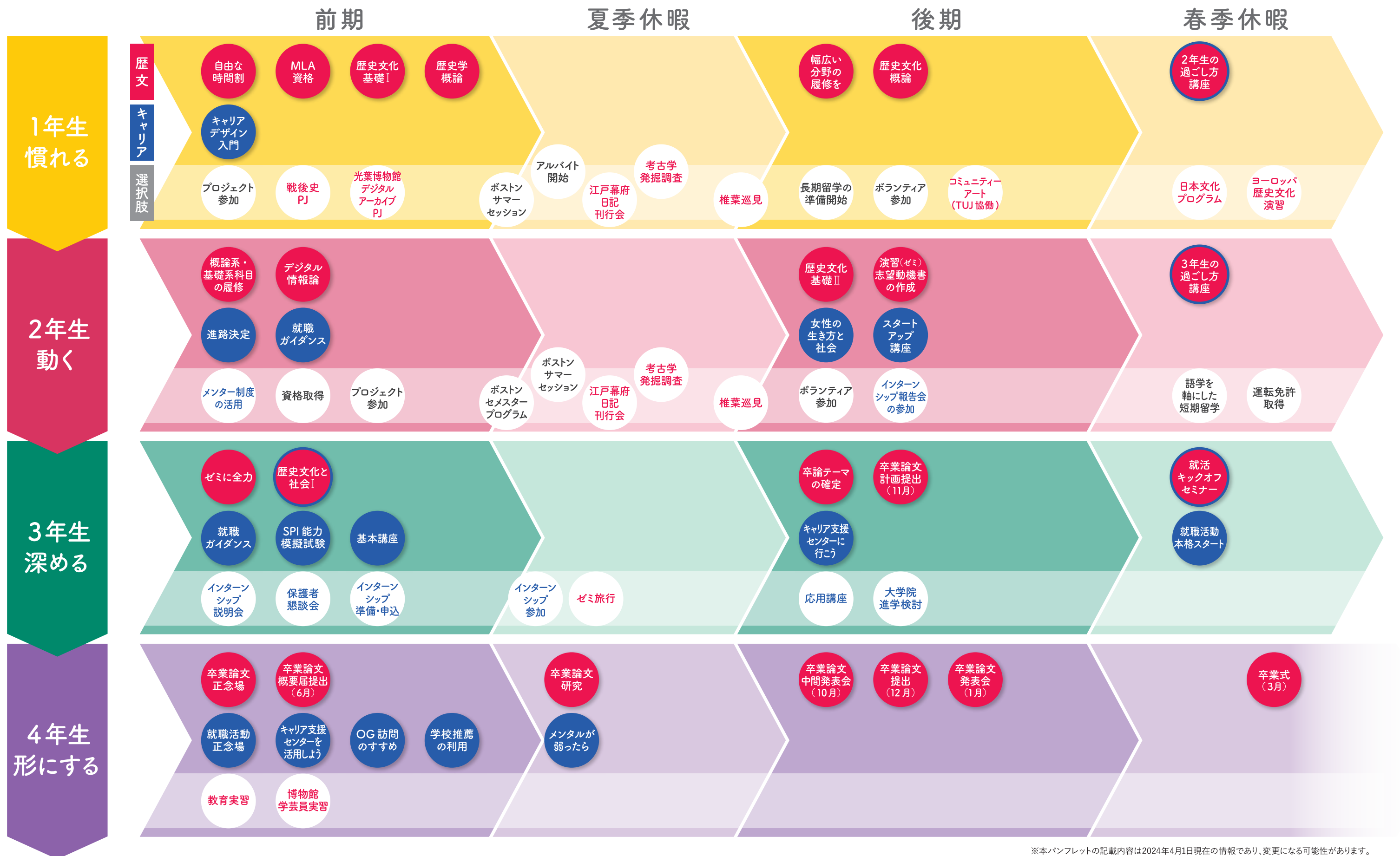
歴文生の4年間

—人生の土台とするために—



社会へはばたくための4年間にしよう

大学4年間の基本的な考え方



※本パンフレットの記載内容は2024年4月1日現在の情報であり、変更になる可能性があります。

大学1年生 大学生生活に慣れる

1年生は「慣れる学年」。

スタートダッシュを焦る必要は全くない。仲間との交流を深めながら大学生生活に慣れよう。

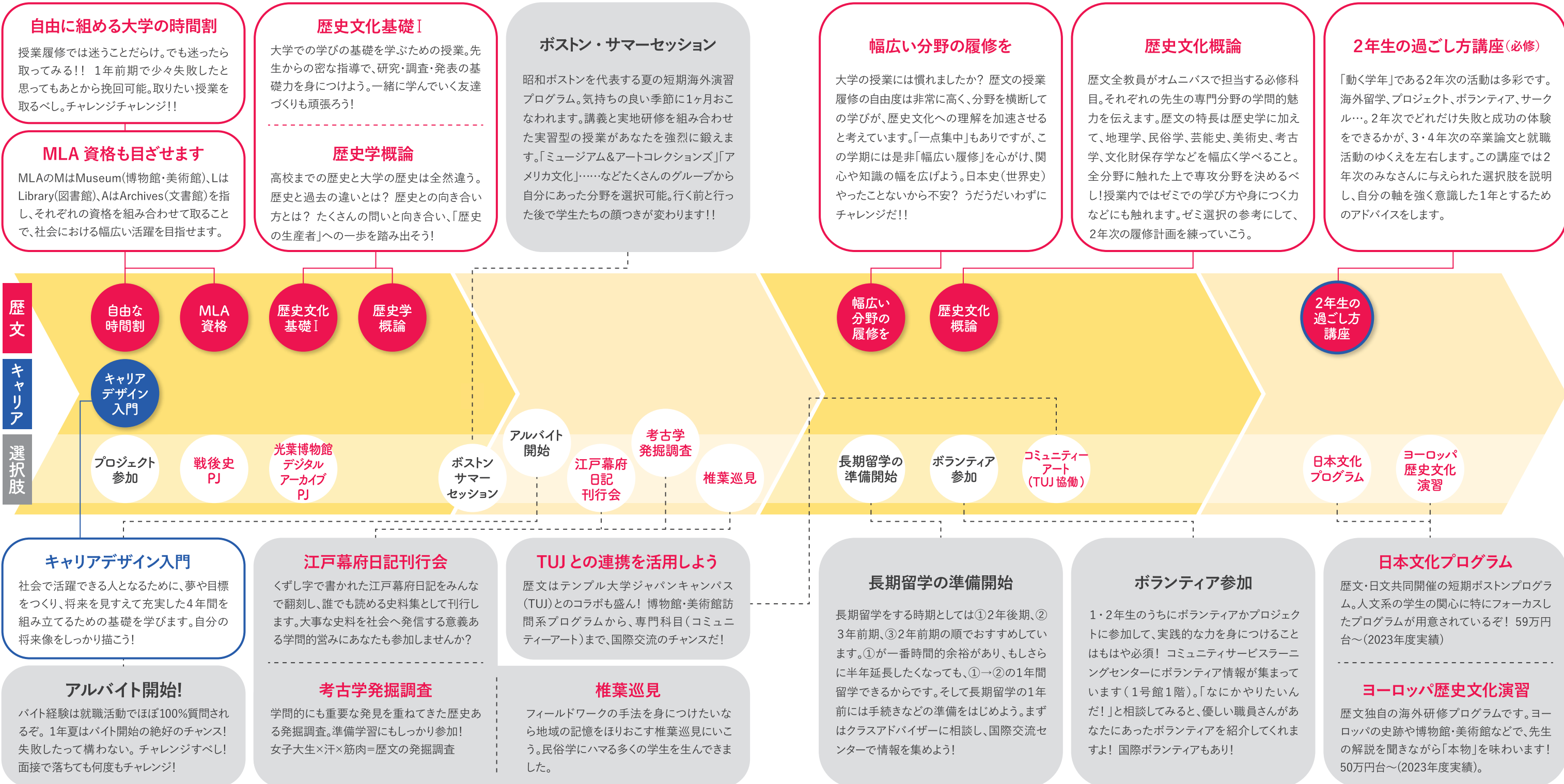
message

1年生へのメッセージ

ご入学おめでとうございます。期待とともに不安もあると思いますが、まずは新生活に慣れることに焦らず取り組んでください。大学では多くの新たな出会いがあります。さまざまな人間関係を作り、充実した日々を過ごしてください。また、歴史と文化の専門研究を行うための基礎力・姿勢を養うべく、しっかりと勉学に励んでください。生活が落ち着いたら新しいこと、大学のプロジェクトや国内外の研修、ボランティア活動に参加してみると良いでしょう。楽しく充実した4年間となりますように！



三野 行徳
歴史文化学科 / アーカイブズ学



大学2年生 主体的に選択し、チャレンジする

2年生は「動く学年」。
多くの選択肢から学問分野と課外活動を組み合わせ、大学生活を組み立てよう。

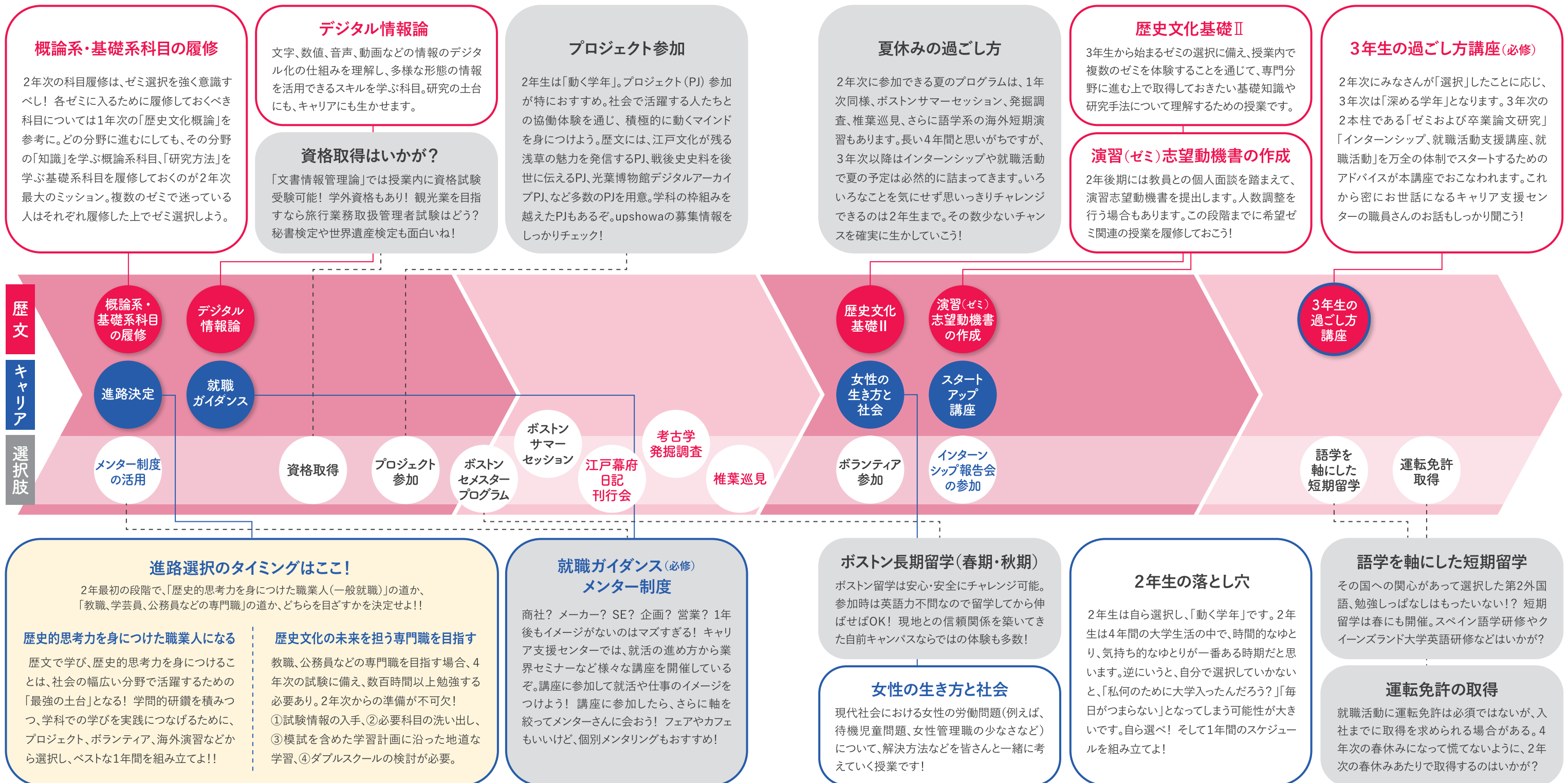
message

2年生へのメッセージ

2年生は「動く学年」です。大学生活に慣れた今こそ、大学生活後半の卒論と就職活動に備え、どっしりした土台を築く1年にしよう！ 課題は2つ。1つはゼミ選択をイメージして計画的に科目履修を進め、研究の方法と基礎的知識を身につけること。もう1つは自分の関心や伸ばしたい力をイメージしながらプロジェクト、ボランティア、海外研修などの課外活動に必ず参加すること。この1年のキーワードは「選択」と「計画性」。チャレンジの中で多くの成功と失敗を積み重ね、自分の「色」を見つけよう！



松田 忍
歴史文化学科/日本近現代史



大学3年生 自らと向き合い、強みを伸ばす

3年生は「深める学年」。
研究とキャリアの双方において、自らの強みをさらに伸ばすべく行動しよう。

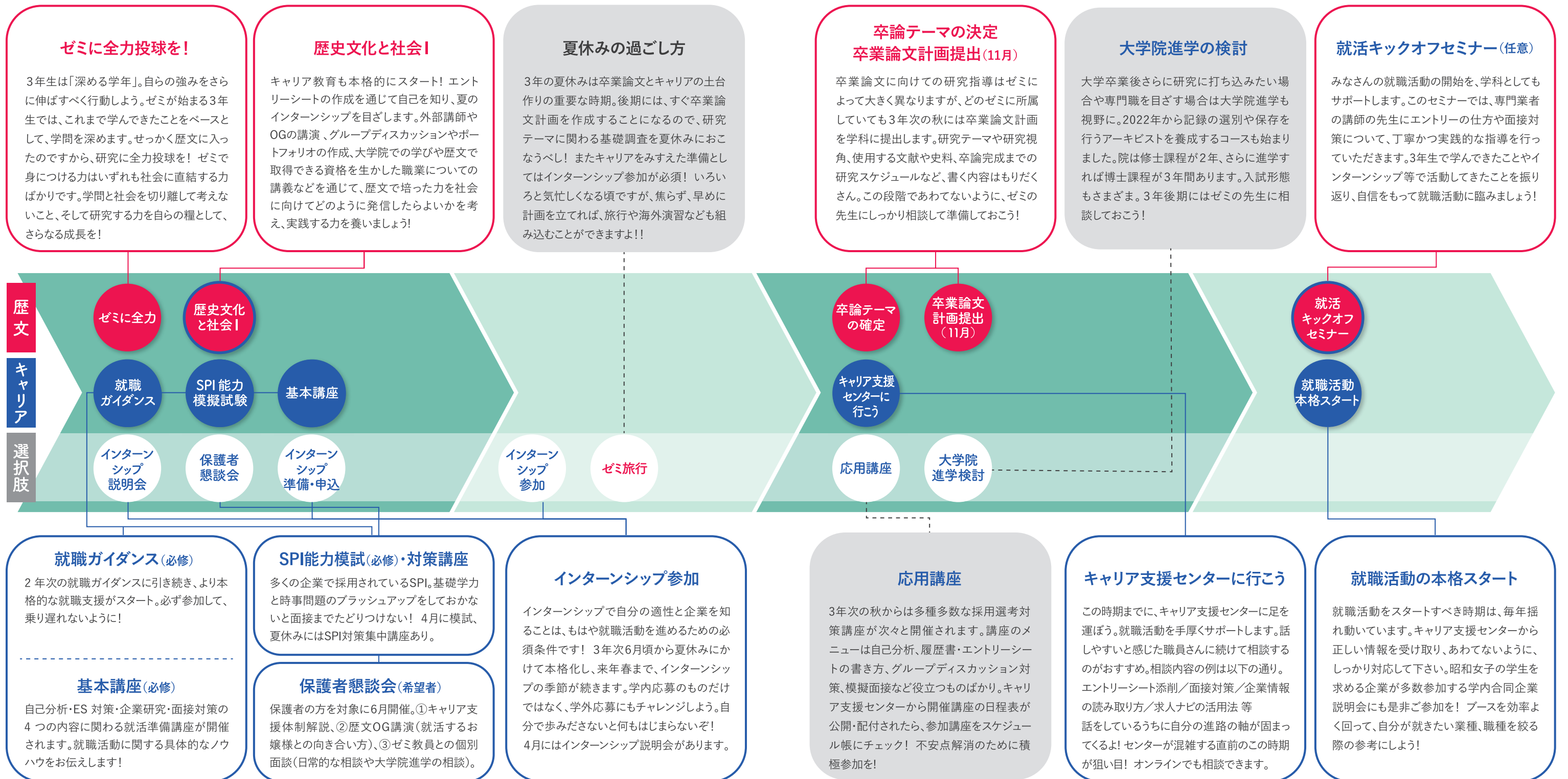
message

3年生へのメッセージ

3年生は「深める学年」です。この学年では自分と向き合うことを大切にしましょう。ゼミでは、研究テーマを自分の力で選び、方法論について考え、自らの問題意識を自問することになります。自分と向き合うことは、キャリアを考える上でも必要です。自分の特性を知り、自分を活かせるフィールドを探すために、社会経験を積んだ多くの人と話をし、インターンシップを体験することが必要です。ゼミとキャリア形成の2本柱を盤石なものにして、4年生に備えましょう。



永井 裕子
歴史文化学科 / 西洋美術史



ゼミに全力投球を!

3年生は「深める学年」。自らの強みをさらに伸ばすべく行動しよう。ゼミが始まる3年生では、これまで学んできたことをベースとして、学問を深めます。せっかく歴史に入ったのですから、研究に全力投球を! ゼミで身につける力はいずれも社会に直結する力ばかりです。学問と社会を切り離して考えないこと、そして研究する力を自らの糧として、さらなる成長を!

歴史文化と社会I

キャリア教育も本格的にスタート! エントリーシートの作成を通じて自己を知り、夏のインターンシップを目標とします。外部講師やOGの講演、グループディスカッションやポートフォリオの作成、大学院での学びや歴史で取得できる資格を生かした職業についての講義などを通じて、歴史で培った力を社会に向けてどのように発信したらよいかを考え、実践する力を養いましょう!

夏休みの過ごし方

3年の夏休みは卒業論文とキャリアの土台作りの重要な時期。後期には、すぐ卒業論文計画を作成することになるので、研究テーマに関わる基礎調査を夏休みにおこなうべし! またキャリアをみすえた準備としてはインターンシップ参加が必須! いろいろと気忙しくなる頃ですが、焦らず、早めに計画を立てれば、旅行や海外演習なども組み込むことができますよ!!

卒論テーマの決定 卒業論文計画提出(11月)

卒業論文に向けての研究指導はゼミによって大きく異なりますが、どのゼミに所属していても3年次の秋には卒業論文計画を学科に提出します。研究テーマや研究視角、使用する文献や史料、卒論完成までの研究スケジュールなど、書く内容はもろたくさん。この段階であわてないように、ゼミの先生にしっかり相談して準備しておこう!

大学院進学の見直し

大学卒業後さらに研究に打ち込みたい場合や専門職を目指す場合は大学院進学も視野に。2022年から記録の選別や保存を行うアーキビストを養成するコースも始まりました。院は修士課程が2年、さらに進学すれば博士課程が3年間あります。入試形態もさまざま。3年後期にはゼミの先生に相談しておこう!

就活キックオフセミナー(任意)

みなさんの就職活動の開始を、学科としてもサポートします。このセミナーでは、専門業者の講師の先生にエントリーの仕方や面接対策について、丁寧かつ実践的な指導を行っていただきます。3年生で学んできたことやインターンシップ等で活動してきたことを振り返り、自信をもって就職活動に臨みましょう!

就職ガイダンス(必修)

2年次の就職ガイダンスに引き続き、より本格的な就職支援がスタート。必ず参加して、乗り遅れないように!

基本講座(必修)

自己分析・ES対策・企業研究・面接対策の4つの内容に関わる就活準備講座が開催されます。就職活動に関する具体的なノウハウをお伝えします!

SPI能力模試(必修)・対策講座

多くの企業で採用されているSPI。基礎学力と時事問題のブラッシュアップをしておかないと面接までたどりつけない! 4月に模試、夏休みにはSPI対策集中講座あり。

保護者懇談会(希望者)

保護者の方を対象に6月開催。①キャリア支援体制解説、②歴史OG講演(就活するお嬢様との向き合い方)、③ゼミ教員との個別面談(日常的な相談や大学院進学相談)。

インターンシップ参加

インターンシップで自分の適性と企業を知ることが、もはや就職活動を進めるための必須条件です! 3年次6月頃から夏休みにかけて本格化し、来年春まで、インターンシップの季節が続きます。学内応募のものだけではなく、学外応募にもチャレンジしよう。自分で歩みださないと何もはじまらないぞ! 4月にはインターンシップ説明会があります。

応用講座

3年次の秋からは多種多様な採用選考対策講座が次々と開催されます。講座のメニューは自己分析、履歴書・エントリーシートの書き方、グループディスカッション対策、模擬面接など役立つものばかり。キャリア支援センターから開催講座の日程表が公開・配付されたら、参加講座をスケジュール帳にチェック! 不安点解消のために積極参加を!

キャリア支援センターに行こう

この時期までに、キャリア支援センターに足を運ぼう。就職活動を手厚くサポートします。話しやすいと感じた職員さんに続けて相談するのがおすすめ。相談内容の例は以下の通り。エントリーシート添削/面接対策/企業情報の読み取り方/求人ナビの活用法等話をしているうちに自分の進路の軸が固まってくるよ! センターが混雑する直前のこの時期が狙い目! オンラインでも相談できます。

就職活動の本格スタート

就職活動をスタートすべき時期は、毎年揺れ動いています。キャリア支援センターから正しい情報を受け取り、あわてないように、しっかり対応して下さい。昭和女子の学生を求める企業が多数参加する学内合同企業説明会にも是非ご参加を! プースを効率よく回って、自分が就きたい業種、職種を絞る際の参考にしよう!

大学4年生

これまでの努力を信じ、活動する

4年生は「形にする学年」。

卒業論文でも、就職活動でも、今までの学びを完成させるよう日々努力しよう！

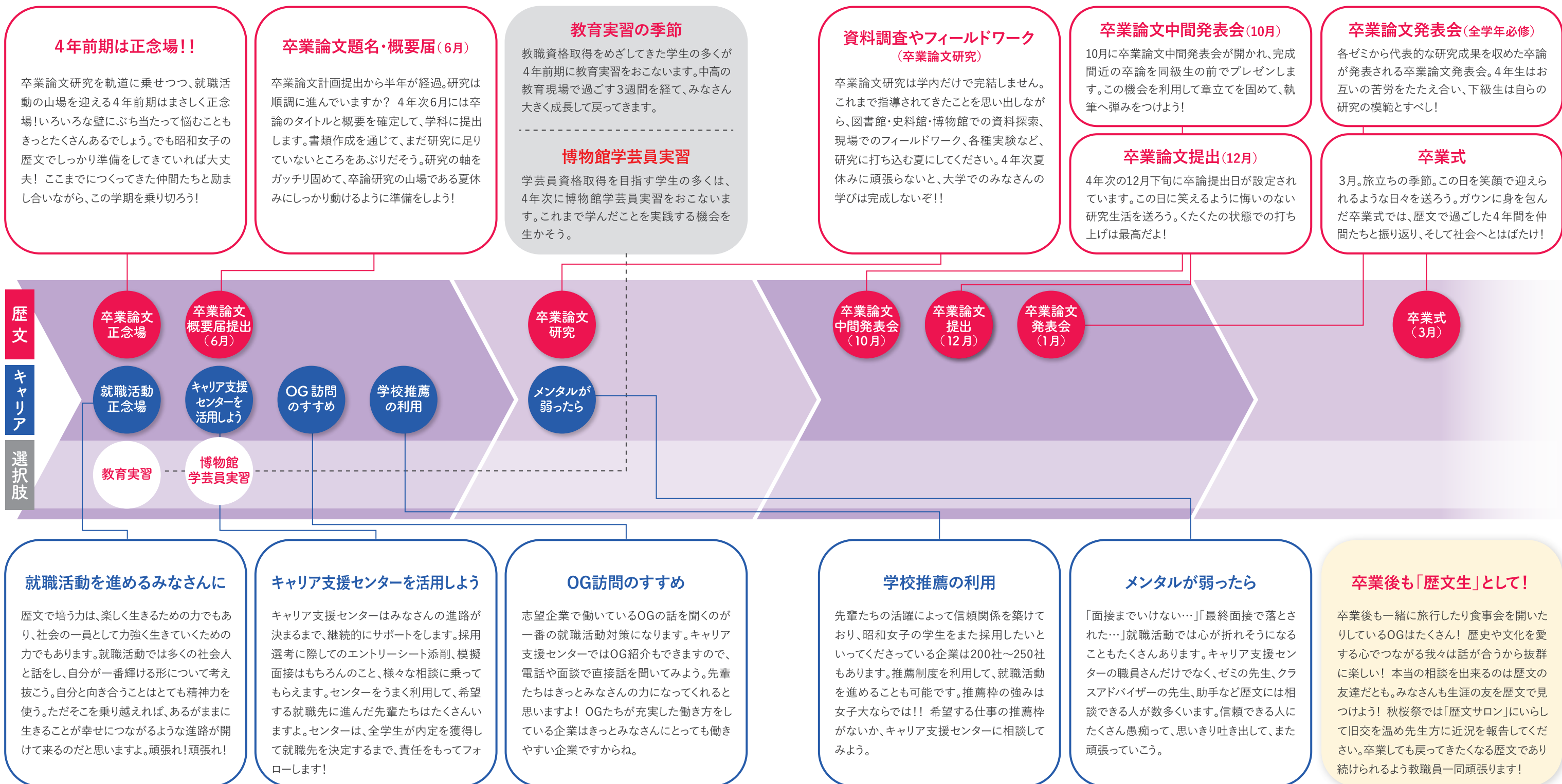
message

4年生へのメッセージ

キャリア支援の目的は、みなさんが自らの強みを活かし、夢を実現できる就職先・進学先と「縁」を繋ぐことにあります。キャリア支援センターは、みなさんにとって役立つ情報をたくさん用意し、提供しています。講座やメンター制度の取り組みに加え、特筆すべきは面談を通じた個別支援です。経験豊富な職員が、みなさんの強み・魅力を的確に引き出し、自信を持てるよう後押しします。「就職の面見の良い大学」として知られる本学の支援を十分活用するためにぜひ足をお運びください。



石井 真樹 (2017年 歴文卒)
キャリア支援センター/歴文担当



4年前期は正念場!!

卒業論文研究を軌道に乗せつつ、就職活動の山場を迎える4年前期はまさしく正念場! いろいろな壁にぶち当たって悩むこともきっとたくさんあるでしょう。でも昭和女子の歴文でしっかり準備をしてきていれば大丈夫! ここまでにつくってきた仲間たちと励まし合いながら、この学期を乗り切ろう!

卒業論文題名・概要届(6月)

卒業論文計画提出から半年が経過。研究は順調に進んでいますか? 4年次6月には卒論のタイトルと概要を確定して、学科に提出します。書類作成を通じて、まだ研究に足りていないところをあぶりだそう。研究の軸をガッチリ固めて、卒論研究の山場である夏休みにしっかり動けるように準備をしよう!

教育実習の季節

教職資格取得をめざしてきた学生の多くが4年前期に教育実習をおこないます。中高の教育現場で過ごす3週間を経て、みなさん大きく成長して戻ってきます。

博物館学芸員実習

学芸員資格取得を目指す学生の多くは、4年次に博物館学芸員実習をおこないます。これまで学んだことを実践する機会を生かそう。

資料調査やフィールドワーク (卒業論文研究)

卒業論文研究は学内だけで完結しません。これまで指導されてきたことを思い出しながら、図書館・史料館・博物館での資料探索、現場でのフィールドワーク、各種実験など、研究に打ち込む夏にしてください。4年次夏休みに頑張らないと、大学でのみなさんの学びは完成しないぞ!!

卒業論文中間発表会(10月)

10月に卒業論文中間発表会が開かれ、完成間近の卒論を同級生の前でプレゼンします。この機会を利用して章立てを固めて、執筆へ弾みをつけよう!

卒業論文提出(12月)

4年次の12月下旬に卒論提出日が設定されています。この日に笑えるように悔いのない研究生生活を送ろう。くたくたの状態での打ち上げは最高だよ!

卒業論文発表会(全学年必修)

各ゼミから代表的な研究成果を収めた卒論が発表される卒業論文発表会。4年生はお互いの苦勞をたたえ合い、下級生は自らの研究の模範とすべし!

卒業式

3月。旅立ちの季節。この日を笑顔で迎えられるような日々を送ろう。ガウンに身を包んだ卒業式では、歴文で過ごした4年間を仲間たちと振り返り、そして社会へとはばたけ!

歴文

キャリア

選択肢

就職活動を進めるみなさんに

歴文で培う力は、楽しく生きるための力でもあり、社会の一員として力強く生きていくための力でもあります。就職活動では多くの社会人と話し、自分が一番輝ける形について考え抜こう。自分と向き合うことはとても精神力を使う。ただそこを乗り越えれば、あるがままに生きることが幸せにつながるような進路が開けて来るのだと思いますよ。頑張れ! 頑張れ!

キャリア支援センターを活用しよう

キャリア支援センターはみなさんの進路が決まるまで、継続的にサポートをします。採用選考に際してのエントリーシート添削、模擬面接はもちろんのこと、様々な相談に乗ってもらえます。センターをうまく利用して、希望する就職先に進んだ先輩たちはたくさんいますよ。センターは、全学生が内定を獲得して就職先を決定するまで、責任をもってフォローします!

OG訪問のすすめ

志望企業で働いているOGの話聞くのが一番の就職活動対策になります。キャリア支援センターではOG紹介もできますので、電話や面談で直接話を聞いてみよう。先輩たちはきっとみなさんの力になってくれると思いますよ! OGたちが充実した働き方をしている企業はきっとみなさんにとっても働きやすい企業ですからね。

学校推薦の利用

先輩たちの活躍によって信頼関係を築けており、昭和女子の学生をまた採用したいとくださっている企業は200社~250社もあります。推薦制度を利用して、就職活動を進めることも可能です。推薦枠の強みは女子大ならではの!! 希望する仕事の推薦枠がないか、キャリア支援センターに相談してみよう。

メンタルが弱ったら

「面接までいけない…」 「最終面接で落とされた…」 就職活動では心が折れそうになることもたくさんあります。キャリア支援センターの職員さんだけでなく、ゼミの先生、クラスアドバイザーの先生、助手など歴文には相談できる人が数多くいます。信頼できる人にたくさん愚痴って、思いきり吐き出して、また頑張っていこう。

卒業後も「歴文生」として!

卒業後も一緒に旅行したり食事を開いたりしているOGはたくさん! 歴史や文化を愛する心でつながる我々は話が合うから抜群に楽しい! 本当の相談を出来るのは歴文の友達だとも。みなさんも生涯の友を歴文で見つけよう! 秋桜祭では「歴文サロン」にいらして旧交を温め先生方に近況を報告してください。卒業しても戻ってきたくなる歴文であり続けられるよう教職員一同頑張ります!

| 歴文で学ぶことは人生の糧になる

花岡 彩乃

(株)フレックスインターナショナル
2014年卒業



(株)近畿日本ツーリスト個人旅行で、店頭販売を行ってきました。国内・海外旅行の相談や手配業務には幅広い知識が求められるため、現地に足を運んでの勉強が欠かせません。この精神は歴文から学びました。また、在学中に力を入れていた教職と資格の経験は、お客様に満足いただけるプランをご提案するための粘り強さやコミュニケーション能力をより成長させてくれました。その後、結婚を機に転職。現在は時短勤務で旅行の商品作成を担当しています。好きな仕事だからこそ、仕事と家庭の両立ができています。

歴文での4年間は必ず人生の糧になります。好きなことを見つけ、どんなことも全力で学び、楽しんで下さい。(観光/企画)

| 歴文での学びを胸に社会へ

三枝 真緒

三井倉庫ビジネスパートナーズ(株)
2021年卒業

文書保管やデジタル化を行う会社の営業をしています。特に図書館の収蔵資料デジタル化の担当しており、歴文で身に付けた資料の取り扱い等の専門知識がお客様からの信頼を得るうえで非常に役立っています。また、現在は会社に勤めながら大学院でアーキビストの勉強にも励んでいます。

歴文で過ごす4年間は、思い返してみればあっという間でした。自分の「好き」な歴史・文化をとことん突き詰めて研究できる環境が歴文にはあります。卒論は大変ですが、研究方法の検討、情報の収集・研究、そして最後にまとめる力は必ず社会に出ても役に立ちます。貪欲に学び、研究し、そして4年間を楽しんでください!(倉庫/営業)



| 歴文での経験を自信に繋げて

中込 早紀

ゼニヤ海洋サービス(株)
2017年卒業



私は水環境機器メーカーで営業アシスタント(事務)の仕事をしています。主な仕事内容は、営業が必要とする見積等資料の作成、事務所での電話対応などです。営業をサポートする裏方の仕事ですが、自分が関係した案件で注文を頂けた時や営業担当から感謝の言葉を頂いた時、この仕事で良かったとやりがいを感じます。

歴文で学んだ事を直接活かす仕事ではありませんが、4年間で色々なことに挑戦し、また、研究成果を論文としてまとめ上げたという経験は、今の仕事での自信に繋がっています。大学での4年間は長いようであっという間です。歴文では授業以外にも様々なプログラムが用意されていますので、様々なことに挑戦をして充実した時間を過ごしてください。(メーカー/事務)

| 挑戦と学びで楽しい4年間に!

坂本 明沙美

(株)マイナビ
2021年卒業

私は医療系職種の人材紹介の営業をしています。歴文の学びの中では、ある仮説を立て、検証するため、資料を悉皆分析していました。今は採用を成功に導くため、ターゲットとなりそうな求職者像の仮説を立てます。その方に対しクライアントの魅力の中のどこを中心にお伝えしたら良いのかなど考え紹介し、実際に良いご縁となった時にやりがいを感じます。また、教職課程、プロジェクト活動など様々な挑戦するようにしており、その中で関わった友人と卒業後も関係性が続いています。そして、私は歴史は自分の生活に地続きだと気づき、今の社会に関心を持つようになりました。学びが仕事に直結はしませんが、どこかでまわりまわって繋がります。頑張ってください!(人材/営業)



| 実につながる 歴史とシステム開発

加藤 那菜

インフォテック・サービス(株)
2017年卒業



SEとしてシステム開発をしています。システムにお客様が心から納得された様子を見た時や、難しい機能を実装できた時は、確かなやりがいと自分の成長を感じられます。歴文で学んだ物事を明らかにしたいという探求心と答えを得るまでの過程は、現在も大変役に立っています。どれだけ難しい機能も実現に向け、顧客・チームメンバーを巻き込み、課題を1つ1つ解決しながら開発していくことができます。

歴文での4年間、興味があることは全力で追いかけてください。先生方に自ら働きかけ、より多くの視点を学んでください。そして、得た知識をアウトプットすることで、多角的な視点や研究過程も自分の力として定着し、社会で大いに役立つと確信しています。(システム開発 / SE)

| 卒業してから気付く、歴文での学び

稲川 瞳

(株)みずほ銀行
2017年卒業

私は銀行窓口に来店されたお客様を対象に資産形成の提案をしています。資格試験が多く大変ですが、お客様から感謝の言葉を頂けた時にはやりがいを感じます。大学生活の中で、多くの行事に参加をしました。特に力を入れたのは椎葉巡見です。巡見を通して人との関わり方を学ぶことが出来ました。巡見参加前には村の方へお手紙を書くなど事前準備をします。学生時代は事前準備の重要性などは理解していませんでしたが、人とのリレーションを築くためには重要なことです。ぜひ一度椎葉巡見に参加してみてください。歴文には学ぶ機会がたくさんあります。社会人になると、自分から積極的に行動しないと学ぶ機会や人と関わる機会は減ります。何事にも興味関心を持ち、充実した4年間を過ごして下さい。(金融 / 営業)



| 自分のなりたい人になる

松井 あきほ

フリーランス
2016年卒業



社会科の教員になろうと歴文に入学しましたが、現在はグラフィックデザインを中心にフリーで活動しています。卒業後1社目ではベンチャー企業にて経理や営業など様々な業務に携わりました。だけど、その業務の中ではやりたいことが見つからず、社会人2年目で思い切ってキャリアチェンジ! 出版会社での経験を経た結果、いま一番やりがいのある仕事ができています。

今の私は、入学時に想像していた自分とは全く違いますが、今までの学びや経験が生かされ繋がっていると感じる瞬間も多く、また大学での挑戦が仕事で生きた場面も沢山あります。就活は大変で苦しい…と思うかもしれませんが、1社目で人生が決まるわけではありません。自分の好きなことを思いっきり楽しんで、なりたい人になりましょう!(フリーランス / デザイナー)

| 歴史との向き合い方を伝える仕事

飯田 杏

光明学園相模原高等学校 教諭
2019年卒業

高校教員をしています。大変ですが、生徒たちと楽しく過ごしています。

私はドイツ環境史について研究していました。テーマのある面白い授業を目指して、大学の学びが役立っています。授業ではもちろん、自分の専門外の内容を扱うこともあります。「歴史とどう向き合い、社会で活かすか」という根本の部分は同じです。歴文で専門性を深め、「歴史を学ぶ」ではなく「歴史で学ぶ」と教えていただいたことが、今を支えてくれています。元々、将来の夢を決められずに入学しました。大学で、資格や委員など気になったことにたくさん挑戦していたら、自然と道が決まりました。やってみよう精神が良い経験になります。今もその気持ちで頑張っています。



社会科教員への道

緩利 誠

全学共通教育センター・
歴史文化学科准教授/教育学

社会科の教師を目指すなら、2年次には自分が希望する自治体や校種を決めて教員採用試験(以下、教採)の対策を始めましょう。私立学校も一つの選択肢になります。特に社会科は、日本史、世界史、地理、倫理、政治・経済など専門教養に関する内容が多岐にわたるため、それらの内容理解にはかなりの時間がかかります。あわせて教職教養や一般教養の対策が求められます。また、最近では学校現場でのボランティアやインターンシップなど、教育実習以外の現場経験も重視されてきています。その他、面接や模擬授業、小論文の対策があります。自治体によっては大学3年次に教員採用試験の一部(各教養試験)を受験できるようにし始めているため、早くから対策するに越したことはありません。



教採に合格するのは難しい。よく聞く言葉です。もちろん、簡単ではありません。ただ、一般企業の採用試験とは異なり、教採の場合、出題内容とその傾向ははっきりしています。つまり、対策すればするほど合格率は確実に高まるわけで、決して悲観する必要はありません。対策のスタートは「自分が希望する自治体の過去問を解く」、そして、「中学校・高等学校の教科書を総復習する」ところからです。具体的な対策方法を知りたいければ、全学共通教育センターの教職課程担当教員を訪ねてみてください。最大限のサポートを約束します。教師になりたい、その想いをカタチにできるよう、ぜひアクションを起こしていきましょう。

突き詰める覚悟をもって学芸員に

外館 恵子

弥生美術館 学芸員
2009年卒業

学芸員を目指す皆さんには、自分が興味を持ったことは、愛情と誠実さを持ってとことん突き詰めて欲しいと思います。現地へ赴いて作品や遺跡を自分の目で見て、自分なりの発見する喜びを体験してください。また学芸員は企画展示を行うと同時に、作品保存に関する専門知識も必要ですので、しっかり学んでください。そして一番大切なのは、学芸員になるのを諦めないこと。狭き門と言われてはいますが、学芸員になっている方は多くいらっしゃいます。雇用形態や仕事内容は様々ですが、どんな仕事であっても取り組む心持で挑み、アンテナを張り続けて、チャンスを逃さないことが大切ではないかと思います。



気になることに挑戦する4年間

小尾 香菜子

日本通運株式会社
2019年卒業



私は現在、物流会社の美術品輸送の部署にて、展覧会等に伴う輸送業務の営業をしています。作品を安全に輸送するために、作品の梱包方法やスケジュールのご提案などが主な業務内容です。作業現場に出れば実際に作品に触れる機会もあり、学芸員課程で学んだことを活かしています。

入学当初は、美術品に関わる仕事に就きたいと思いながら、狭き門だとも感じておりました。プロジェクト型インターンシップや発掘調査などに参加する中で、視野が広がり自分がやりたいことを見つけることが出来ました。

4年間は長いようであつという間です。ぜひ、色々なことに挑戦して、沢山の人と出会って充実した4年間で過ごしてください。

| 大学院への進学も選択にあります

野口 朋隆

歴史文化学科
准教授 / 日本近世史



歴文(学部)では勉強して研究の世界を知り、それぞれのテーマに基づいた卒論を作成します。しかし、それは始まりにすぎません。学問・研究の世界が広く深いことに気づくはずですが、もっと知りたい、より研究を深めたいと考える人は大学院へ進学して下さい。大学院では自分の興味関心に沿って、専門的に学ぶことができます。また、教員や学芸員を目指す人にとって大学院修了は有利に働きますし、2022年4月から記録資料の選別・保管・閲覧などを職務とするアーキビスト資格に関する科目も設置されました。社会で専門的な知識をもとに仕事をしたい人も進学を考えてみて下さい。

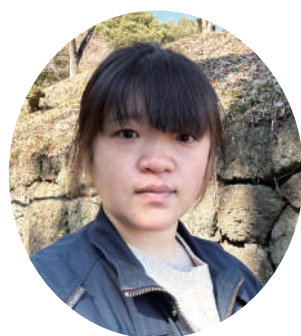
| 色々なことにたくさん興味をもって

石下 翔子

那須烏山市教育委員会事務局生涯学習課
2014年卒業(2016年大学院修了)

私は大学院を修了したあと、2年間ほど公益財団法人とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センターで嘱託職員として勤務したのち、現職である栃木県那須烏山市教育委員会事務局生涯学習課に勤務し、学芸員として市内の文化財に関わる仕事をしています。

私は考古学を専攻していましたが、現在では民族や建築、彫刻など幅広い文化財を取り扱っています。市区町村に勤務する学芸員(文化財担当職員)は専門外のことも最低限はこなせなくてはなりません。昭和女子大学では様々な授業を履修することができるので、地方公共団体の学芸員として就職を考えているのであれば興味の幅を広げ、基礎学でもよいので履修することをお勧めします。研究対象についてはできれば大学院で深化させ、自らの幹を太くすることも重要だと思いますし、調査を主となって経験は現在に生きていると思います。



| 歴文生の道しるべ「歴文生の4年間」

小泉 玲子

歴史文化学科
学科長・教授 / 日本考古学

「歴文生の4年間」は、私たちの経験をもとに作成した歴史文化学科での4年間の過ごし方モデルです。新入生の方々にはご自身の4年間をイメージしてもらえたでしょうか。大学生生活の不安を少しでも解消する手助けになればうれしいです。

4年間を有効に過ごすためには、その時々でやるべきことがあります。また、大きな目標がある場合は準備を始めるタイミングもあります。時期とタイミングを逃さずに、計画的に4年間を送ってほしいと思います。具体的に言うと「歴文生の4年間」の軸は2つです。主軸である赤丸の専門分野の学びと、青丸の卒業後のキャリアについて考え準備をすること。更に授業だけではなく白丸の選択肢をどう組み合わせ、豊かな学生生活にしていくか。前提となるのは皆さん自身が自分の人生をどう生きていきたいか、なりたいたい自分についてよく考えることです。一人ひとり違うはずですから、それぞれ自分の道を描いてください。

また、その折々でこの冊子を開き、今何をすべきか確認して下さい。保護者の方とこれをもとに学生生活や将来について、話し合っていたいただきたいと思います。

最後に、いろいろな業界へ進んだ卒業生皆が一様に強調していることは、歴史文化の学びを突き詰めよ!真剣に歴史と向き合え!それが自信と強みになるよ!ということでした。ぜひこの言葉を4年間の指針にがんばってください。教職員一同応援してます。



歴史文化学科 キャリアデザイン・ポリシー

1. 歴史・文化を解明していく過程で得た知見や情報分析能力を活かし、社会活動における様々な分野で課題の発見と解決を自ら行なえる人材を育成する。
2. 多角的な視点から日本や世界の地理・歴史を深く学び、異文化に対する洞察力を備えた教員を育成する。
3. 学芸員・考古調査士・アーキビスト等の資格を持ち、歴史・文化に関する高い調査研究能力を身に付け、関連する諸機関で活躍できる専門人材を育成する。
4. 歴史と文化を深く理解し、自ら学んだことを活かしながら、地域協働の担い手となり得る公務員を育成する。



『歴文生の4年間 ～人生の土台とするために～』

発行 昭和女子大学 人間文化学部 歴史文化学科
〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57

URL:<https://content.swu.ac.jp/rekibun-blog/> (歴文ブログ)

TEL:03-3411-5373 E-mail:rekibun@swu.ac.jp

発行日:2024年4月1日 印刷:株式会社スマッシュ

入試関係のお問い合わせは

[アドミッションセンター]

フリーダイヤル:0120-5171-86 (受付時間 平日9:00~16:00)

TEL:03-3411-5154 E-mail:spass@swu.ac.jp